

防犯ボランティア団体をつなぐコミュニケーション情報紙 おつかれさまです!

自転車盗難の防止など自転車利用環境の改善に向けた取組 「キーつけっぺ」作戦（東根市）

村山警察署管内で発生する自転車盗難の大半は、JR 駅駐輪場で発生しています。そこで東根市では、昨年度から東根市防犯協会連合会東根市防犯推進員を中心として「キーつけっぺ作戦」を展開しています。

「キーつけっぺ作戦」とは、「自転車に鍵（KEY）をかけよう（つけよう）」と「自転車盗や交通安全に気をつけよう」という2つの言葉を合体して、語尾を山形弁（村山地方）の「つけっぺ」とした作戦名です。

この活動では、東根市内にあるJR各駅の駐輪場を利用する高校生等に、二重ロックによる盗難防止や、携帯電話等を操作しながらの運転禁止等、自転車利用のマナーアップに向けた呼び掛けを行っています。昨年度、山形市内に通学する高校生が止めていた無施錠の自転車が盗難被害に遭うケースが多かったことから、本年度は、朝一番の列車で通学する高校生に対しても呼び掛けを実施しました。



無施錠自転車はワイヤー錠を取り付けて盗難被害を未然に防止!



また、駐輪場に止めてある自転車の防犯登録の有無や施錠状況を1台ずつ点検しており、無施錠の自転車を見つけたときは、警察官がその場でワイヤー錠を取り付けて盗難被害の未然防止を図っています。ワイヤー錠を解錠するときは、自転車の持ち主が交番に申し出る必要があります。その際は、警察官が確実な施錠を指導して施錠率の向上を図っています。

現在、東根市内には高等学校がありませんが、平成28年度から県立中高一貫校「東桜学館」が開校し、人や自転車の動きがますます活発になると予想されます。犯罪が起きにくい街にするために、「玄関口となる駅前をきれいに」をモットーに、一人ひとりが熱意を持って作戦を展開しています。参加者からは、「前回よりカギ掛けが浸透している」「これからもこまめな点検が必要だ」などの声上がるなど作戦の効果を実感しており、とてもやり甲斐を感じています。

安全・安心で犯罪の起きにくい明るい「東根市」になるように、これからも玄関口となる駅前の防犯活動を継続して推進していきます。

（文～村山警察署生活安全課 課長 花輪美佳）



【編集後記】近年、放置自転車と自転車盗の防止を目的に、全国各地で有料駐輪場や屋内駐輪場が整備されています。一方で、これらを整備した一部の地域において、周辺の道路上、空き地、商業施設駐輪場等の放置自転車が増加したケースがあります。これは、「駐輪に手間がかかるようになった」「駐輪場が見つけれない」「駐輪代を払いたくない」という理由が関係しているようです。高齢化社会の進展に伴い、今後、自転車の利用者数と台数は更に増加すると言われています。それぞれの地域の実情に合わせて、駐輪場の使いやすさについても検討していく必要があるようです。